**添書は不要です。このまま送信してください。**

**島根県教育センター 研究・情報スタッフ 岩橋宛**

**FAX:0852-22-5875**

**Mail:iwahashi-masahiro@edu.pref.shimane.jp**

**管理職セレクト研修の方は**

**２のみ記入してください。**

**「令和元年度【862】中学校技術教育講座」事前課題②12/5実施分**

学校名　（　　　　　　　　　　　　）

職・氏名（　　　　・　　　　　　　）

**※ご記入いただいた内容は、講座の内容充実のために活用させて頂きます。また、レジュメ等に掲載する場合は、個人情報に配慮したうえで掲載します。**

　今回の研修は“内容Ｄ情報の技術”の授業づくりをテーマにしています。

１．内容Ｄの（２）“双方向性のあるコンテンツのプログラミングによって解決する活動”について、新学習指導要領に沿った授業を行うにあたって、どのような題材・プログラミング言語等を使って生徒の資質・能力を育んでいくか見通しが立っていますか？（□に☑を記入してください）

　　　□既に授業を実施してみて、見通しが立っている　　　　（　　年生で実施）➡質問１－①へ

□まだ授業を実施していないが、ほぼ見通しが立っている（　　年生で実施）➡質問１－①へ

　　　□既に授業を実施してみたが、あまり見通しが立っていない　➡質問１－②へ

　　□まだ授業を実施していないし、見通しも立っていない　➡質問１－②へ

　　　１－①具体的にどのような題材・プログラミング言語をご使用予定か教えてください。

　　　（題材名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　　　（プログラミング言語等：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　１－②“見通しが立っていない”とお答えの方のみ、その理由を教えてください。（複数回答可）

　　　□候補はいくつかあるが、教材の価格面で問題がある。

□候補はいくつかあるが、教材の内容・機能に問題がある。

　　　□候補はいくつかあるが、決め手がない。

　　　□探しているが、見つからない。

　　　□探しているが、ちょうど良いものが見つからない。

　　　□探しているが、どれを選んだらよいか分からない。

　　　□探したいが、どうやって探したらよいか分からない。

　　　□探す時間がない。

　　　□探していない。

　　　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

２．小学校でプログラミング教育が必修化されましたが、小学校との接続について、現時点で良いと思われる点や不安な点・問題になる点、改善点等、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

※この課題の内容について、管理職の指導を受ける必要はありません。

※この課題は、**１１月２０日（水）１７時まで**に本講座担当者へＦＡＸかメールにて提出してください。